

志木市新庁舎

SHIKI CITY HALL

2022年7月開庁



事業経緯

志木市旧庁舎は昭和47年5月に竣工しました。

以来、市民サービスの拠点としての役割を担ってきましたが、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模地震が発生した場合に倒壊するおそれがあり、災害対策本部としての機能を果たせないことがわかりました。また、建物設備の老朽化も進行していたことから、庁舎の耐震化や長寿命化が大きな課題になりました。

このような課題を解決するため、今後の市役所のあり方を市議会、市民・専門家を交えた会議でさまざまな角度から検証した結果、従来の敷地に建替えることを決定し、令和2年初頭から約2年半をかけて旧庁舎の解体、新庁舎の建設を進め、令和4年6月30日に新庁舎建設工事及び一体的に整備を行った人工地盤建設工事が竣工、7月19日に開庁・業務開始を迎えました。



いろは親水公園（手前）と新庁舎

CONCEPT 新庁舎建設コンセプト

市民が利用しやすい新庁舎

- さまざまな手続の簡素化を図り利便性を高めるため、戸籍、子育てや福祉など利用が多く関係性の高い窓口をひとつのフロアに集約して配置する、ワンフロアストップ方式を取り入れています。
- 窓口カウンターは一列にして見通しがよく各窓口を分かりやすくしたほか、プライバシーにも配慮して席間にはパーティションを設置しています。
- 待合スペースは眺望の良い南側に配置したほか、1階にはキッズコーナーや飲食コーナーを設け、用務の合間にも安らぎ楽しめる快適な空間としています。
- 4階南側に配置した議場は明るく開放的な空間になっています。円形で段差のない特徴的な形状と合わせて、全体が見やすく一体感があり、議会をより身近に感じることができます。



受付カウンター



待合スペース



キッズコーナー



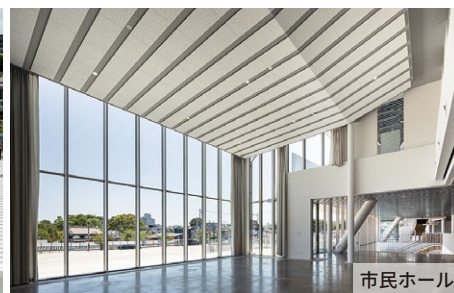
議場

市民力のステージとなる新庁舎

- 庁舎前面の大きな広場（人工地盤）はランドテラスと称し、市民が気軽に集い、活動や交流ができるスペースとなっています。また、ランチタイムにキッチンカーを出店するなど、庁舎周辺のにぎわい創出の場として活用を図ります。
- 1階にはランドテラスに面して市民ホール（約100m²）を設け、研修や講演会のほか、イベントにも利用できるよう、間仕切りで区切ることもできる仕様としています。
- 4階南側の眺望の開けたスペースを展望ロビーとし、新庁舎と一体的に再整備を行った“いろは親水公園”や新河岸川・柳瀬川など、水と緑の自然豊かな景観を楽しむほか、一部はギャラリースペースとして各種展示にも対応しています。



ランドテラス



市民ホール

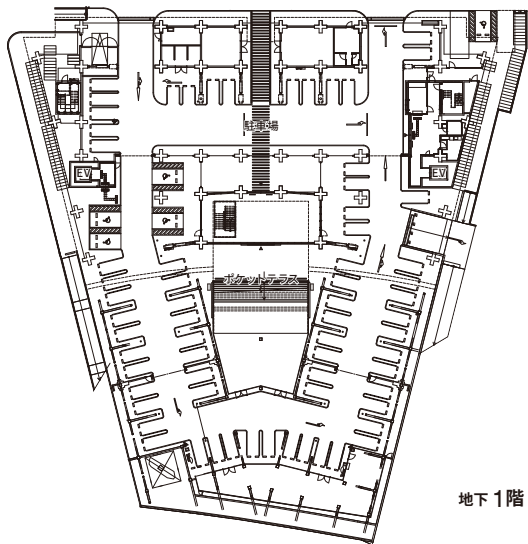


展望ロビー

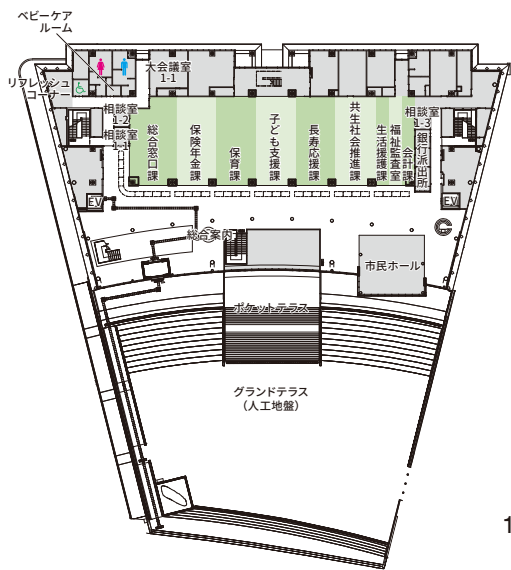


展望ロビーからの眺望

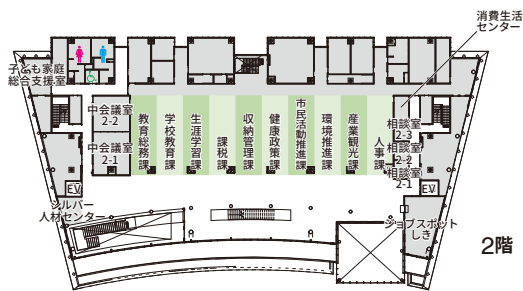




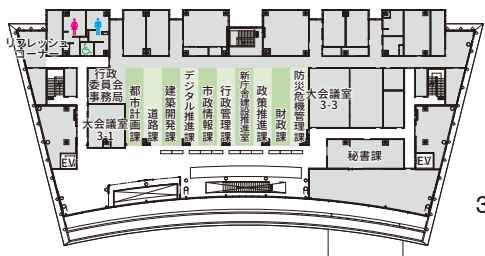
地下1階



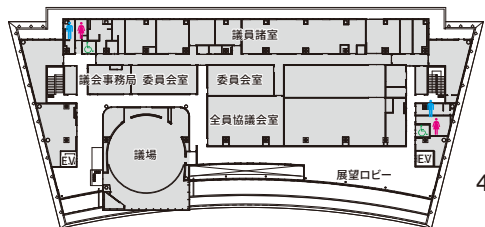
1階



2階



3階



4階

建物概要

- 所在地 埼玉県志木市中宗岡1丁目1番1号
- 構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上4階・地下1階
- 敷地面積 9,039.15m²
- 延べ面積 12,621.63m²
- 最高高さ 24.9m
- 設計・監理 株式会社佐藤総合計画
- 施工 新庁舎建設工事：鹿島建設株式会社
新庁舎人工地盤建設工事：関口工業株式会社
- 工期 新庁舎建設工事：令和2年7月17日～令和4年6月30日
新庁舎人工地盤建設工事：令和3年9月24日～令和4年6月30日
- 工事費 新庁舎建設工事：6,079,524,000円
新庁舎人工地盤建設工事：661,976,000円
合計：6,741,500,000円
- 発行者 志木市役所
〒353-8501 埼玉県志木市中宗岡1丁目1番1号
TEL 048-473-1111 (代表)



志木市